

Qlik[®] Sense が実現する 共同作業～発想力～革新

本来、組織とはコラボレーションによる目標の達成のために作られたものです。共通の使命や目標を達成するために、個人がそれぞれの経験、能力、技能を尽くします。力を合わせることで、より大きな問題を解決する可能性が生まれ、1人ではできないことを達成することができるのです。

コラボレーションは、人間をかたちづくるうえで重要な体験です。人は家族の中に生まれ、コミュニティの中で育ちます。人は生まれつき、コラボレーションするようにプログラムされているのです。そして、問題に直面した時にさまざまな視点からの解決策を出し合うことは、新しい考え、すなわちイノベーションを生み出すうえで当然ながら大きなプラスになります。つまり、BIとデータに対する投資から、確実に最大限の利益を得るために、コラボレーションは大変重要な要素なのです。

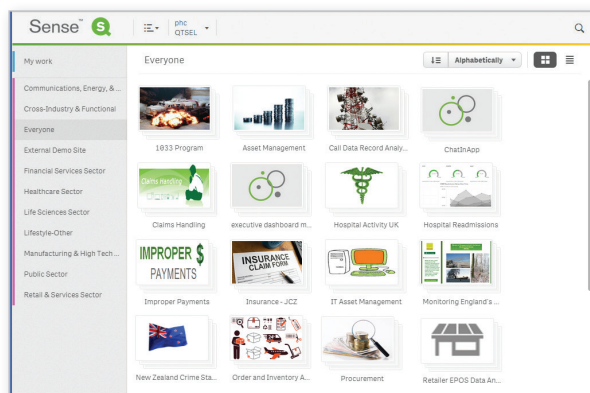
Qlik Sense を使用すると、データを中心としたコミュニティが生まれ、それぞれが見識を共有することで、誰もが恩恵を受けると同時に貢献できます。以下にその方法を説明します。

ストリーム

コラボレーションの第一歩は、共有されているコンテンツを各自が見つけて調査してチームに貢献することができる、環境づくりです。

Qlik Sense のストリーム機能は、Qlik Sense のアプリをロジカルにまとめたコミュニティで、組織単位、あるいはプロジェクト単位でも、ストリームを作成できます。あるコミュニティ向けの新しいコンテンツが作成されると該当するストリームに表示され、コミュニティのメンバー全員が新しいコンテンツを簡単に見つけて活用できます。

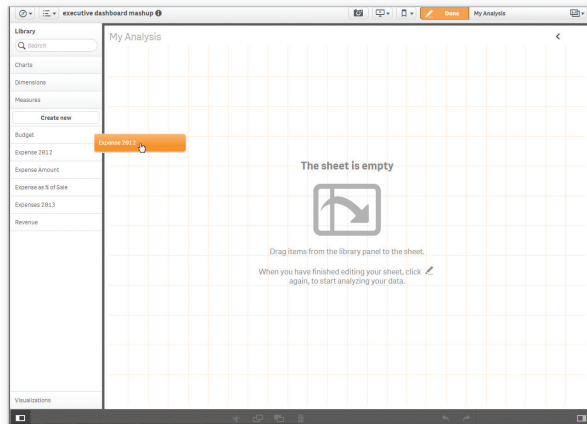
加えて、個人ごとにもストリームが割り当てられるので、個人的な作業に使用するコンテンツと組織として確認されたコンテンツを明確に区別することができます。



コンテンツライブラリ

チームの誰かがすでに作成したものを活用することで、グループでの作業はさらに大きな成果を得ることができます。

Qlik Sense のライブラリ機能は、データ管理者がデータを他のメンバーにも使いやすい形で提供することができる機能です。データだけでなくメジャーを追加しておくことで、同じ定義を共有することができます。さらに、ビジュアライゼーションをライブラリで共有しておく、メンバー全員が手軽に再利用することができます。

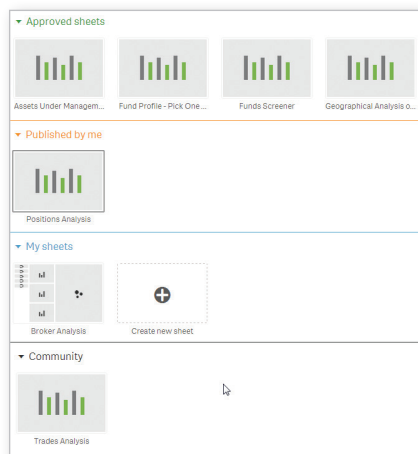


コラボレーションによる作成作業

従来の BI は、事前に要件を確認したうえで、それをもとにテクニカルエキスパート（通常は IT 部門）が作成し、ユーザー部門に提供するという考えのもとに構築されています。しかし現実には、その方法でうまくいくことは殆どありません。なぜなら、分析のための要件を定義するためには、実際の業務担当者が直接データを触ってみて、どのようにすればデータを役立てられるか、ということを知ることがまず必要だからです。

Qlik Sense を使用すると、同じ目的をもってデータを分析しているメンバーが作成したコンテンツをもとに、さらなる作業を実施することができ、視覚化されたデータをビジネスにニーズにあわせて調整していくことができます。

もう一つのメリットとして、メンバーが各自でコンテンツを作成できるので、それぞれのやり方でデータを検証し、新しいアイデアでイノベーションを起こすことができます。そのアイデアの価値が評価された時には、コミュニティ全体に公開し、そのイノベーションを広く共有することができます。



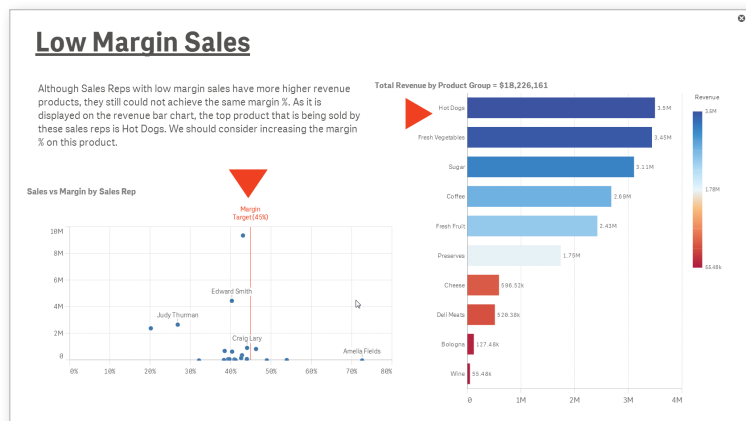
データストーリーテリング

ストーリーテリング (物語を語ること) は、コラボレーションと同じくらい人間の体験の奥深くに内在する概念です。私たちの周りには、太古の昔から何世代もにわたって知恵を語り継いできた物語から、現在の私たちの家族意識、文化意識、コミュニティ意識の根底を支える物語まで、さまざまな物語が存在します。

ビジネスにおいてストーリーテリングは、共通理解を構築し、意思決定を支持し、他人に影響を与える手段です。しかし、データそれ自体が、物語として説得力を持つわけではありません。同様に、1人のメンバーがデータを分析して洞察を得たとしても、それを共有する手段がなければ他人に影響を与えることはできません。

Qlik® Sense のデータストーリーテリング機能では、洞察に基づいて説得力のあるストーリーを作成し、組織全体の英知とイノベーションとして結実させることができます。データストーリーテリングは Qlik Sense に内蔵されている機能であるため、データ系列の問題は生じません。

ユーザーは、データストーリー全体を通じて、データビジュアライゼーションの任意の場所に、視覚効果、注釈、画像を追加できます。これにより、ストーリーに沿って提示されるデータ分析結果で、さまざまな点を強調し、文脈を与えることができます。ビジュアライゼーションは、元の分析に直接連結されているため、思いがけない疑問が生じた場合にも、詳細な分析とデータストーリーの間を自由に切り替えて参照できます。ストーリーが完全に組織の一部になった後は、データストーリーをそのストーリーの生きた履歴として保持して、教育、意思決定、イノベーションに使用できます。



Qlik® Sense は、作成、共有、連携、およびコミュニケーションのためのコラボレーション環境を提供します。データ、分析、および洞察を組織全体で共有すれば、さまざまな視点から検討することができ、すべてのユーザーの利益につながります。Qlik Sense の使用により、組織は協力して適切な意思決定を行い、イノベーションを推進できます。

詳細については、qlik.com をご覧ください。

qlik.com

